



アクティビティ  
1

# 海の水ってなぜからい

## 【ねらい】

- 海水から塩を取り出すことを通して海水にはたくさんの塩が溶け込んでいることに気づかせる。
- 昔の人は、生活に必要な塩を生命の源である海から手に入れていたことに気づかせる。

## 【実施の条件】

- |                      |               |
|----------------------|---------------|
| ●対象 / 保育園、幼稚園、小学校低学年 | ●時間帯 / 昼間     |
| ●人数 / 10人程度          | ●場所 / 砂浜      |
| ●季節 / 夏～初秋           | ●所要時間 / 80分程度 |

## 【準備するもの】

紙、布、虫めがね、なべ（フライパン）、卓上ガスコンロ、布（タオルなど）、針金、ペンチ、糸

## 【すすめ方】

塩を取り出す作業を通して、海水には塩が溶けていることに気づくことができるようにする。

- ① 海水をなめてみよう。
  - 海水はほんとうにしおからいなあ。
- ② 海水にとけている塩を取り出してみよう。
  - 紙や布を海水でぬらして太陽に当ててかわかしてみよう。
  - 鍋（フライパン）で水をじょうはつさせてみよう。
  - きらきらした白い塩が出てきたぞ。
- ③ 塩を集めよう。
  - たくさん塩がとれたぞ。
- ④ 塩づくりの話を聞く。
  - 塩田のはなし
  - 塩の利用について

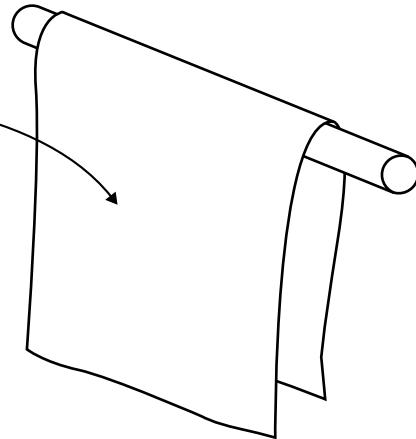


〈バリエーション〉（1）塩田の見学を取り入れる。  
（三田尻 塩田記念産業公園）

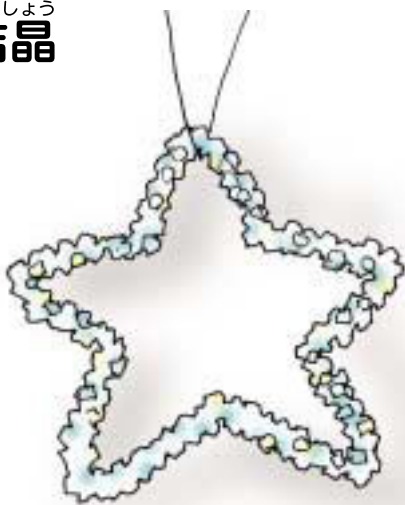
# うみ みず 海の水ってなぜからい

にっこう みず  
★日光で水をじょうはつさせる。

かいすい ぬの  
海水をしみこませた布  
(かわくたびに、ジヨロで少しずつ  
かいすい  
海水をかけていく)



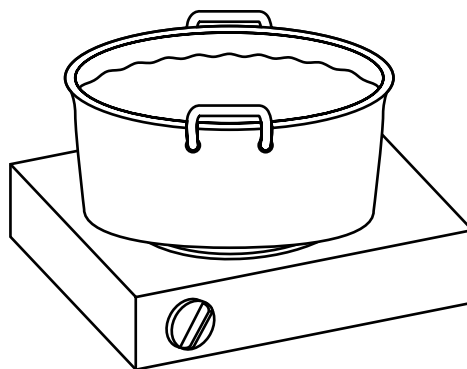
しお けっしょう  
★塩の結晶



はりがね いと ま  
針金に糸を巻いたもの  
またはモールを星形にして  
ほしがた  
濃い食塩水につける。

かいすい  
★海水をにつめる

たくじょう  
卓上ガスコンロ



- ① かいすい  
海水をなめてみよう。
- ② かいすい しお と だ  
海水にとけている塩を取り出してみよう。
- ③ しお  
塩をあつめよう。
- ④ しお はなし き  
塩づくりの話を聞く。



## アクティビティ 2

# 塩水と真水の見分け方

### 【ねらい】

- 海には塩が溶け込んでいることを知り、海水である塩水と川の水である真水を見分ける身近な方法を試してみることができるようになる。
- 新しい見分け方を見つけることができるようになる。

### 【実施の条件】

- |              |                |
|--------------|----------------|
| ●対象 / 小学校中学年 | ●時間帯 / 昼間      |
| ●人数 / 20人程度  | ●場所 / 砂浜あるいは教室 |
| ●季節 / 四季を通して | ●所要時間 / 60分程度  |

### 【準備するもの】

筆記用具、いろいろな野菜、電池、豆電球、ペットボトル、コップ

### 【すすめ方】

海水は塩からいことに気づかせ、塩水と真水の見分け方を話し合い、簡単な方法で見分けられるようになるよう。

#### ① 海水(塩水)と真水を見分けよう。

- どちらもとうめいでわからないなあ。
- 塩水は塩からいからなめたらわかるよ。

#### ② なめないで見分ける方法はないだろうか。

- いろいろな野菜を浮かべてみるといいよ。

#### ③ いろいろな見分ける方法をためしてみよう。

- 水に塩水を入れてみよう。
- 塩水に水を入れてみよう。
- ペットボトルに塩水や真水を入れてふってみよう。
- フライパンで水を蒸発させてみよう。

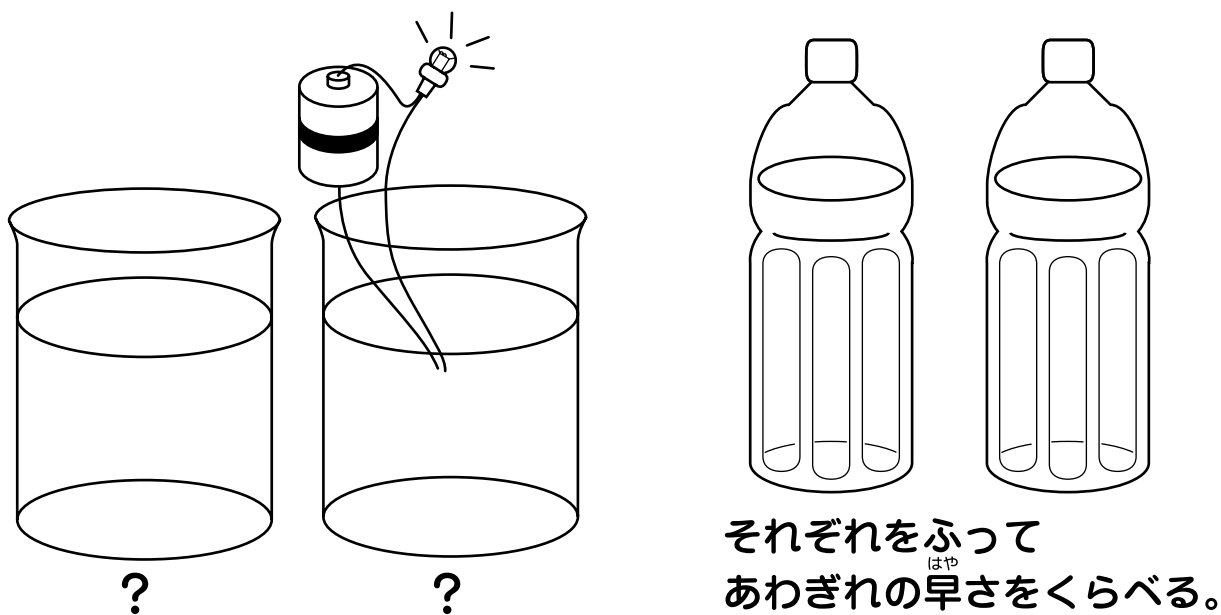
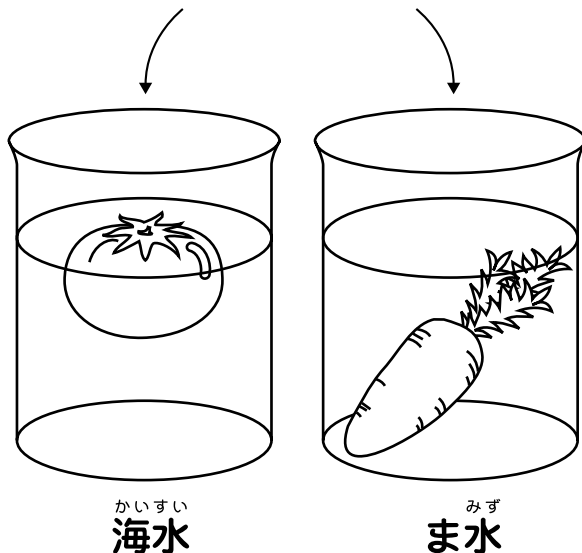


### 〈バリエーション〉

- (1) 海水と同じ塩からさになるように、真水に塩を入れてみよう。
- (2) 「海の水ってなぜからい」のアクティビティと組み合わせ、作った塩を利用して、本アクティビティを展開することも可能。

# しおみず みず み 塩水とま水の見わけかた

にんじんなどやさいを入れてみよう



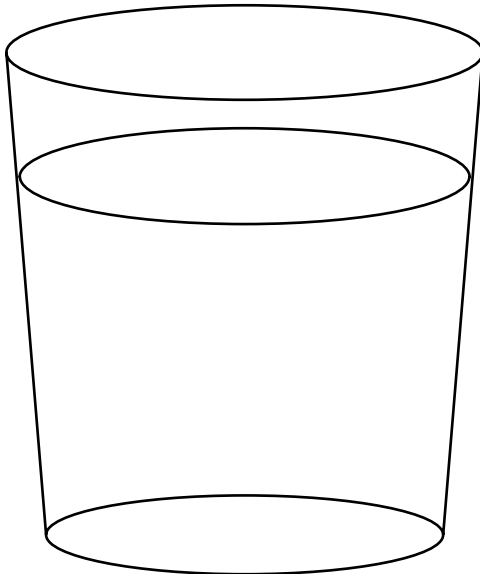
- ① かいすい しおみず まみず みわけ  
海水(塩水)と真水を見分けよう。
- ② なめないで見分ける方法はないだろうか。
- ③ いろいろな見分ける方法をためしてみよう。

(※その他いろいろな方法があるので考えてみよう。)

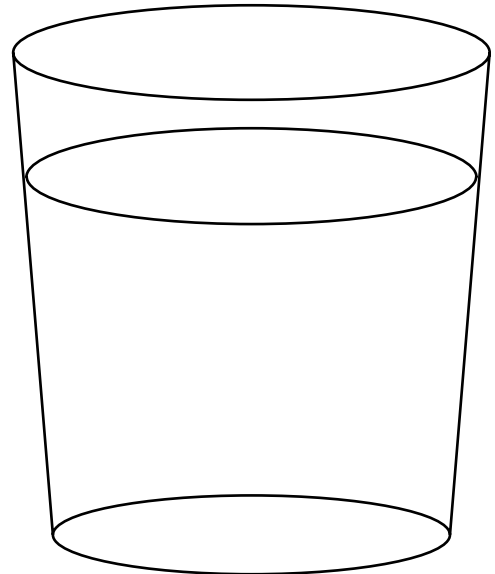
## 【はっけんカード】

★どうしたら<sup>かいすい</sup>海水と<sup>みず</sup>ま水をみわけることができるだろう。

★<sup>かいすい</sup>海水と<sup>みず</sup>ま水に「<sup>やさしい</sup>いろいろな野菜」を<sup>い</sup>入れてみよう。



<sup>かいすい</sup>  
海水



<sup>みず</sup>  
ま水

★そのほかの<sup>ほうほう</sup>方法でためしたけっかをかいてみよう。



アクティビティ

# 3

# 海水で走る船づくり

## 【ねらい】

- 海水につけると動き出す船をつくることを通して、海水は電気を通す性質があることに気づかせる。

## 【実施の条件】

- 対象 / 小学校3年生
- 人数 / 20人程度
- 季節 / 夏～初秋
- 時間帯 / 昼間
- 場所 / 砂浜、教室
- 所要時間 / 120分程度

## 【準備するもの】

舟型発泡スチロール、プロペラ、単三電池1本、モーター（FA130）1個、アルミテープ（ビニール被膜加工がされていないもの）

## 【すすめ方】

海水につけると動き出す船をつくろう。

### ① 海水は電気を通すのだろうか。

- 真水は電気が通らないが海水は通るぞ。
- 海水では豆電球がついたよ。

### ② 海水がスイッチになるような船を作ろう。

- なかなかむずかしいな。
- プロペラがまわって進むしくみだね。

### ③ 楽しい船になるように工夫しよう。

- いろいろなかざりを付けてみよう。
- 自分の船とわかるように工夫しよう。

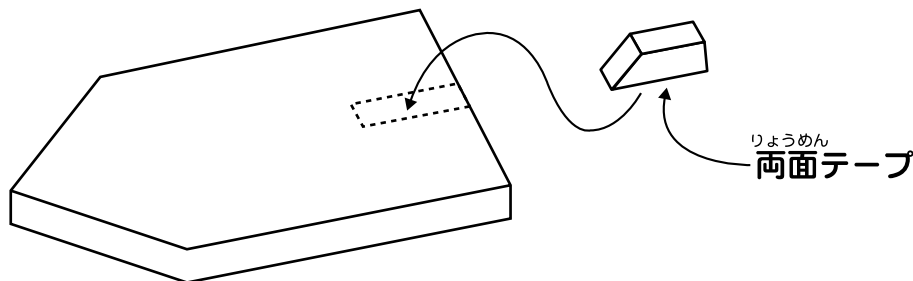
### ④ 船を動かして遊ぼう。

- すぐ曲がってしまう。まっすぐ走らせないな。
- もう少し速く走らないかな。電池をふやしてみるかな。

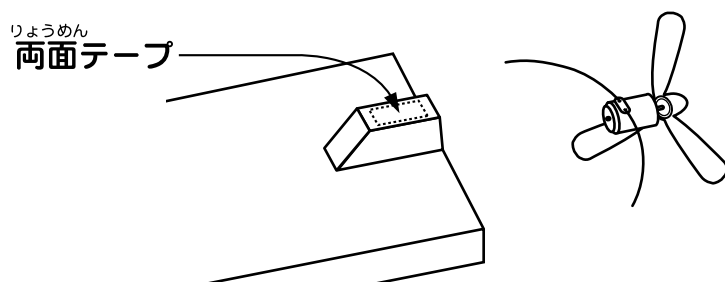


# かいすい はし ふね 海水で走る船づくり

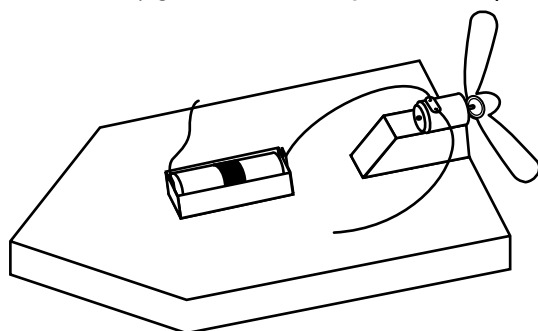
- ① <sup>ふながた</sup>舟型のはっぼうスチロール板<sup>ばん</sup>にプロペラだい<sup>と</sup>を取り<sup>つ</sup>付ける。



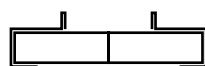
- ② プロペラだいにプロペラをつけたモーター<sup>りょうめん</sup>を両面テープ<sup>と</sup>で取り<sup>つ</sup>付ける。



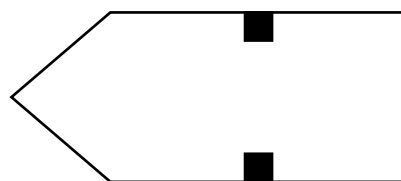
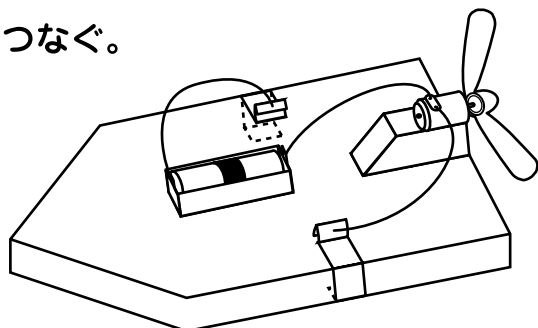
- ③ <sup>たんさん</sup>単三でんちボックス<sup>りょうめん</sup>を両面テープで船のまん中<sup>ふね</sup>に付けてモーター<sup>なか</sup>との線<sup>つ</sup>を<sup>せん</sup>つなぐ。



- ④ スイッチの<sup>やくめ</sup>役目をするアルミテープ<sup>ふながた</sup>を、舟形の板<sup>いた</sup>に<sup>ず</sup>図のように<sup>は</sup>貼る。  
そして、線<sup>せん</sup>をつなぐ。



まえ  
前からみた図



した  
下からみた図

- ⑤ <sup>かいすい</sup>海水につけてうごかしてあそぶ。

※動くのは海水（しお水）にでんきを通すせいしつがあるからです。